

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	英 語
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	第1の観点 ①目次に单元ごとの Goal を提示し、領域を記号で表現している。各单元のとびらでも、目次と同じ Goal と单元末での活動内容を示しているページが多い。 ②Unit 1. 2 では Prctice としてペアで伝え合う活動、Read and Think 1. 2 では、Reading と Writing の活動ができるようになっている。学期に一度、それまでに学んだ領域と技能を活用した Stage Activity が取り入れられている。 第2の観点 ③Unit では Read and Think の本文に関する内容について自分の考えや気持ちを伝える活動がある。 ④各学期末に Stage Activity という单元があり、聞いた情報から即興で「話す・聞く」から「書く」につながり、最後は「話す（発表）」活動がある。 第3の観点 ⑤单元を貫く問い Unit Question を单元名として設定し示している。また、ゴールの活動（Unit Activity）に向けて、各パートの Activity をスモールステップで積み上げられるように工夫されている。 ⑥单元ごとにとびらで Goal が示されており、その单元での目標が明確である。また、单元末に話す活動や書く活動の Unit Activity があり、最後に CHECK でその Goal に対して生徒自身が振り返りを行うことができるようになっている。 第4の観点 ⑦とびらに、Preview として聞く活動、Part 1 と 2、Read and Think 1 と 2 で、本文内容の概要把握と Round Reading で読む活動を設定している。单元末に Unit Activity、ステージ末に Stage Activity という統合活動の構成になっている。 ⑧巻末の WordList で小学校外国語科で学習した単語に印がある。「小学校の単語」Stage 1 として Unit 0 ～Unit 4 までが小学校で学んだ英語を整理するための Stage 1 として扱われている。 第5の観点 ⑨二次元コードを設置し、学習に役立つウェブアプリや資料、動画やクイズ、音声など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「資料編」と「巻末付録」を掲載している。

	⑩巻末口絵「学習を振り返ろうーCAN-DO リスト」に領域別学習到達目標を設定している。領域別及び Stage ごとに目標についての振り返りを4段階で設定している。
開隆堂	第1の観点 ①目次に単元ごとの Goal が書かれていない。各単元のとびらで各ページに対しての Goal が提示されている。 ②PROGRAM では、Listen の活動が続き、その後に Speak&Written の活動が続いている。単元の間では、Listen&Read の活動など、基礎的・基本的な内容を活用できる活動になっている。単元の終末では、Retelling 活動や目的・場面・状況を意識し、既習事項を活用して活動できる言語活動が設定されている。 第2の観点 ③単元の scenes に既習の文法事項を用いて自分のことを伝えたり、相手に質問したりする Speak&Write の活動がある。また、Our Project の単元では、Goal が具体的で、モデル文の提示、完成までのステップの提示などの工夫がある。 ④各 Program の最後に本文で読んだ内容をリテリングして話す活動や、その単元のテーマに関する英文を読んで紹介文や自分の考えを書いたり話したりする領域統合の活動を行えるようになっている。 第3の観点 ⑤新出表現の導入がマンガ形式で掲示されており、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われるのか視覚的に理解できる。各単元の Part に入る前に、Tuning in という本文のテーマについて話し合う活動や会話を聞き内容を確認する活動が設定されている。 ⑥各単元の学習内容は、単元後半の Review&Retell で振り返り、Action で自分の考えが伝えられるようにしている。巻末の CAN-DO リストで各学年での5領域の目標が示されており、単元ごと、各文法事項ごとに3段階で振り返ることができる。 第4の観点 ⑦Scenes で聞く、やり取り、書く活動が設定されている。単元末に Action でやり取りの活動がある。また、ステージ末に Our Project として統合問題を設定している。 ⑧巻末の Word List で小学校外国語科で学習した単語に印がある。小学校で学んだ単語については、新出事項を扱う単元に入る前に、小学校でできるようになったことを確認できるページがある。（約20ページ） 第5の観点 ⑨二次元コードを設置し、学習に役立つ本文や語句の音声、題材導入動画や文法解説アニメーション、発表モデル、単語アプリなど、多岐に

	わたるコンテンツを用意している。巻末に「Word Web」と「巻末資料」を掲載している。 ⑩巻末資料8「CAN-DO」リストに領域別学習到達目標を設定している。各単元に設定した「できること」について、領域別の振り返りを3段階で設定している。
三省堂	第1の観点 ①目次にLessonごとのGoal Activity（活動の内容）を提示している。各単元のとびらで目次と同じGoal Activityを提示している。 ②各Partに文法事項等を領域ごとに活用して身に付ける言語活動としてExerciseが設定されている。また、各単元の終末にはGoal ActivityとしてRead、Writeの活動がある。単元の終末では、Retelling活動や目的・場面・状況を意識し、既習事項を活用できる言語活動が設定されている。 第2の観点 ③LessonのPart3ではSmall Talk Plusで本文の内容と関連する話題で会話をする活動があり、会話を広げるヒントもTipsという例文を交えて紹介している。 ④各Lessonの最後のGoal Activityでは、「読む」から「書く」へつなげる活動がある。また、各学期末にProjectという単元があり、「読む・聞く」から「書く・話す（発表）」につなげる領域統合の活動がある。 第3の観点 ⑤単元の話題に関連するとびらの写真について、英語で簡単なやり取りをする活動や単元のそれぞれのPartの始めにSmall Talkで生徒同士が英語でやり取りをする活動が設定されている。また、Scene1では、登場人物の会話を聞き、興味をもたせる工夫がある。 ⑥各単元のとびらにGoal Activityが提示され、単元末にどんな英文を読むのが明確である。また、Take Actionでは、それまでの学習内容を使い、表現できるようになっている。3単元ごとにProjectがあり、既習事項を振り返り、表現できるよう設定している。 第4の観点 ⑦とびらに、Lesson Previewとして聞く活動がある。単元末に、Goal Activityとして、発表ややり取り、書く活動がある。また、Take Actionで各言語活動が設定されている。 ⑧初めの数ページに小学校で学んだ単語や表現がまとめて紹介されている。巻末のWord Listで小学校外国語科で学習した単語に印がある。My Dictionary また、PROGRAMに入る前に、小学校でできるようになったことを確認できるページがある。（約24ページ）

	第5の観点 ⑨二次元コードを設置し、学習に役立つ資料動画や本文アニメーション、文法の解説動画や発音チェックなど、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「For Self-study」と「資料」を掲載している。 ⑩資料「What Can I Do?英語の学習にCan-Do リストを活用しよう」に領域別学習到達目標を設定している。当該学年でできるようになったことについて、領域別の振り返りを4段階で設定している。
教 出	第1の観点 ①目次に単元の目標は提示されていない。各単元のとびらに内容理解と活動の2点で目標が提示されている。単元終了時の活動であるTaskでは、目標をどれくらい達成できたか振り返ることができる部分がある。 ②Lessonごとに、Part1～Part3、Tool Kit、Let's Listen、Think&Tryで各領域を扱っている。それぞれの単元終末にはTaskが設定され、Grammarの解説もある。また、Tip for Speaking、Reading、Listening、Writingと表記し、各領域を扱っている。Projectと題して学期に1回の割合で既習事項のパフォーマンス課題を設定している。 第2の観点 ③Lessonの各PartのThink&Tryでは、本文の内容について自分の考えや気持ちなどを入れてやり取りができる活動がある。また、単元末のTaskでは、設定された場面の中で、既習の文法事項を用いて相手に質問したり、自分のことを伝えたりする活動が行える。 ④学期に1回Projectという単元があり、モデル文を聞く活動、それを基に書く活動、最後は話す（発表）活動につながっている。 第3の観点 ⑤各単元のとびらに、その単元に関する話題についての質問を聞き、話す活動につなげる英文がある。また、Goalとして、単元の目標を内容理解と活動の2項目で示している。 ⑥各単元の最後にTaskとGrammarを設定し、それまでの学習内容を振り返ることができる。また、とびらにあるGoalについて4段階で自己評価し振り返ることができる。3単元ごとにProjectを設定し、既習事項を振り返り、表現できるよう設定している。 第4の観点 ⑦とびらに、単元のGoalに関連したListeningがある。Part1～3での活動の後、「Task」として読む、話す（発表、やり取り）や書く活動がある。さらに、単元の最後にActivity PlusやTipsがあり、発展的なSpeakingやReading活動がある。

	⑧小学校で学んだ単語が紹介されている。巻末の Word List で小学校外国語科で学習した単語に印がある。小学校で体験した活動にもう一度取り組むことができるページが新出事項を扱う単元の前にある。 第5の観点 ⑨二次元コードを設置し、「まなびリンク」にアクセスできる機能や英文・語句の音声、学習シートややり取り見本動画、録音・再生機能など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「巻末資料」と「付録」を掲載している。 ⑩巻末資料「Can-Do 自己チェックリスト」に領域別学習到達目標を設定している。領域別の振り返りを4段階で設定している。
光 村	第1の観点 ①目次に各単元の目標とその目標を達成するための言語活動のマークが提示されている。各単元のとびらに各言語活動に対する Goal が示されている。 ②各単元で見開き1ページの中で各活動ができるように設定されている (Listen&Read→Listen→Speak→Write)。また、各 Part が終わった後に、既習事項を活用して、単元の目標を達成できたかを図る Goal のページがある。学期に1回の割合で既習事項の総復習を行えるようになっている。 第2の観点 ③単元の各 part に学習した文法事項を用いて、自分のことを表現したり相手に質問したりするやり取りの活動がある。 ④学期末に You Can Do It という単元があり、「読む」から「書く」につながる活動や、「聞く・見る」から「話す (メモや箇条書き程度の文を見て)」・「見せる」につながる活動になっている。 第3の観点 ⑤各単元のとびらの中で、その単元におけるコミュニケーションの目的・場面・状況を登場人物のイラストと台詞で示しており、聞く活動でその単元の大まかな内容を考えることができる。また、About You として本文に関する質問について話す活動がある。 ⑥各単元末の振り返りにおいて、2項目について振り返りを設定したり、学期の振り返りにおいて、4段階の振り返りを設定している。また、巻末の CAN-DO List で領域別の到達目標を示し、学期ごとに自己評価をすることができる。 第4の観点 ⑦とびらに本文内容に関わったやり取りをする活動が設定されている。Part1～3の後、Goal として、話す活動や書く活動がある。 ⑧小学校で学んだ単語が紹介されている。巻末の Word List では、小学校外国語科で学習した単語に印がある。小学校で習った語、Words の前

	に桜のマークがある。新出事項を扱う単元に入る前に小学校での既習事項を使う活動がある。(約 20 ページ) 第 5 の観点 ⑨二次元コードを設置し、学習に役立つ音声、動画、理解度を確かめるピクチャーカード、即興的に話す活動を支える動画、発展的なリーディング教材など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「帯活動」と「巻末付録」を掲載している。 ⑩巻末資料「CAN-DO List」に領域別学習到達目標を設定している。領域別の振り返りを「You Can Do It!」ごとに 4 段階、当該学年の自己評価を 4 段階で設定している。
啓林館	第 1 の観点 ①目次に単元の目標は提示されていない。Project や Let's シリーズの紙面上に目標を提示している。単元ごとに Goal を Input と Output の 2 本柱で示している。 ②各 Unit の目標に基づき Read / Listen&Think または Think&Speak / Write が設定されている。技能統合型の言語活動 Project を第 1・第 2 学年では年間 3 回、第 3 学年では年間 2 回設定している。 第 2 の観点 ③単元の各 part に Express Yourself があり、その part で学習した文法事項を用いて、自分のことを表現したり相手に質問したりするやり取りの活動が行えるようになっている。 ④単元末に Think&Write や Think and Speak という「聞く」から「書く」、「書く」から「話す」につなげる領域統合の活動がある。また、Project という単元では、「読んで書く」、「聞く・読む」から「書く」につながり、最後は「話す（発表）」につながる活動がある。 第 3 の観点 ⑤各単元のとびらで、目的・場面・状況を示しながら聞く活動を行うことができる。また、即興的なやり取りの活動として、Unit の各 Part に Enjoy Chatting が設定されている。Chatting では、Part の本文内容に関連する問いが 1 問提示されている。 ⑥各単元のとびらに Unit Goal として、Input と Output の 2 項目についてその単元の目標が提示されている。また、単元末の Check で Unit Goal について 4 段階で自己評価し、振り返りができるようになっている。 第 4 の観点 ⑦とびらに聞く活動がある。単元の後半には Read and Think として Reaging 活動、Think and Speak では、Speaking 活動がある。Project 1～3 として統合した活動も設定している。

	⑧小学校で学んだ単語が紹介されている。巻末の Word List では、小学校外国語科で学習した単語に印がある。新出事項を扱う単元に入る前に小学校での既習事項を使う活動がある。（約 10 ページ） 第 5 の観点 ⑨二次元コードを設置し、学習に役立つ本文や新出語句、リスニング音声、本文アニメーション映像、文法解説動画など多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「巻末付録」と「付録」を掲載している。 ⑩巻末付録「CAN-DO List」に領域別学習到達目標を設定している。当該学年の学習到達目標についての振り返りを 4 段階で設定している。
--	--